

各位

 令和元年 6 月 17 日  
 碧海信用金庫

**2019 年 3 月期（平成 30 年度）決算発表**

碧海信用金庫（理事長：山内 正幸）は、2019 年 3 月期（平成 30 年度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

**記**
**1. 主要業績数値**

		2019 年 3 月期 (当期)	2018 年 3 月期 (前期)	増 減
預貸金状況	預金積金残高	2,073,660 百万円	2,043,521 百万円	+30,139 百万円 (+1.47%)
	貸出金残高	1,030,923 百万円	1,042,024 百万円	△11,100 百万円 (△1.06%)
損益状況	業務純益	5,349 百万円	5,815 百万円	△466 百万円
	経常利益	5,252 百万円	5,615 百万円	△362 百万円
	当期純利益	3,785 百万円	4,130 百万円	△345 百万円
健全性	純資産額	182,567 百万円	180,355 百万円	+2,211 百万円 (+1.22%)
	自己資本比率（単体）	15.84%	15.84%	±0 ポイント
	不良債権比率	3.15%	3.07%	+0.08 ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。

**2. 業績コメント**
**〔預貸金状況〕**

○預金積金残高は、個人預金・法人預金ともに増加し、前期比 30,139 百万円増加の 2,073,660 百万円となりました。貸出金残高は法人向け貸出の減少などにより、前期比 11,100 百万円減少の 1,030,923 百万円となりました。

## 〔損益状況〕

○有価証券利息配当金や国債等債券関係損益が増加しましたが、貸出金利息の減少や一般貸倒引当金算定方法の変更による影響などにより、業務純益 5,349 百万円、経常利益 5,252 百万円、当期純利益 3,785 百万円となりました。

## 〔健全性〕

○金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率（単体）は、前期と同じく 15.84%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っており、当金庫の安全性は極めて高い状態にあります。

○不良債権比率（金融再生法ベース）は、前期比 0.08 ポイント上昇の 3.15%となりました。

以 上